

氏名 青木 保 住所 寺田町12-9 TEL 06-123-4567 曾根崎町 TEL 06-987-6543	それに対し、カード型データベース（以下CDBと略）はカードの持つ利点を十分に生かしながら、情報量が増えても検索が容易で場所もとらない等、従来からのカードの欠点を補うものです。 またRDBに比べて、日常よく使われているカードをなるべくそのままの形でパソコン上で展開することができるので、初心者にも分かり易く、RDBの様に本格的な利用に際してもプログラムを組む必要はありません。		
7. データベースを作ろう	次画面 <input type="button" value="➡"/>	前画面 <input type="button" value="⬅"/>	
データベース	17	メニュー <input type="button" value="☰"/>	終了 <input type="button" value="☒"/>

写真3-4-22

RDBの特長 機能は多彩 使い方がやや難しい CDBの特長 機能は単純 使い方も易しい	しかしその反面、CDBにはRDBの様な多彩な機能はなくせいぜいデータの並び替えや検索ができる程度です。また、CDBは最初に書式を決定すると、その後の変更は難しいので最初にデータを入力する時は先のことまで考えて入力しなければなりません。 確かに機能としては単純なCDBですが、カードの利点を持ち、かつ欠点を補っているものなので、従来紙のカードを利用していただけるところ、例えば図書館や住所録等に用いれば、大きな効果を得ることができるでしょう。		
7. データベースを作ろう	次画面 <input type="button" value="➡"/>	前画面 <input type="button" value="⬅"/>	
データベース	18	メニュー <input type="button" value="☰"/>	終了 <input type="button" value="☒"/>

写真3-4-23

<table border="1"> <thead> <tr> <th>氏名</th> <th>国語</th> <th>数学</th> <th>英語</th> <th>合計点</th> <th>偏差値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青木</td> <td>12</td> <td>86</td> <td>93</td> <td>170</td> <td>49.8</td> </tr> <tr> <td>川上</td> <td>58</td> <td>62</td> <td>45</td> <td>165</td> <td>48.3</td> </tr> <tr> <td>藤井</td> <td>86</td> <td>88</td> <td>92</td> <td>266</td> <td>72.5</td> </tr> <tr> <td>松原</td> <td>72</td> <td>16</td> <td>43</td> <td>131</td> <td>42.6</td> </tr> <tr> <td>.....</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>.....</td> <td>.....</td> </tr> <tr> <td>平均</td> <td>64</td> <td>66</td> <td>49</td> <td>179</td> <td>50.0</td> </tr> </tbody> </table>	氏名	国語	数学	英語	合計点	偏差値	青木	12	86	93	170	49.8	川上	58	62	45	165	48.3	藤井	86	88	92	266	72.5	松原	72	16	43	131	42.6	平均	64	66	49	179	50.0	8. 成績処理をしてみよう 皆さんは、表計算という言葉を知っていますか？ 表計算というのは、コンピュータの中に1枚の表があると考え、その表の上で平均点を出したり偏差値を出す等、様々な計算を行うことです。 皆さんが、本格的にパソコンで成績処理を行おうとする場合表計算は必ず必要になります。 リターンキーを押して下さい
氏名	国語	数学	英語	合計点	偏差値																																						
青木	12	86	93	170	49.8																																						
川上	58	62	45	165	48.3																																						
藤井	86	88	92	266	72.5																																						
松原	72	16	43	131	42.6																																						
.....																																						
平均	64	66	49	179	50.0																																						
8. 成績処理をしてみよう	次画面 <input type="button" value="➡"/>	前画面 <input type="button" value="⬅"/>																																									
データベース	19	メニュー <input type="button" value="☰"/>	終了 <input type="button" value="☒"/>																																								

写真3-4-24

氏名	国語	数学	英語	合計点	偏差値
青木	12	86	93	170	49.8
川上	58	62	45	165	48.3
藤井	86	88	92	266	72.5
松原	72	16	43	131	42.6
.....
平均	64	66	49	179	50.0

また、いくつものテスト結果の集計を計算するにはデータベースの機能も必要ですし、グラフ化の機能もあれば、より便利に利用できるでしょう。

パソコンで成績処理を行う場合、そのようなことを考慮してそれらの機能を合わせ持つ統合型ソフトウェアと呼ばれているものを使用する必要がありますでしょう。

8. 成績処理をしてみよう

次画面

前画面

データベース

19

メニュー

終了

写真3-4-25

	国語	数学	英語	総合
素点	48	53	71	172
偏差値	49	46	57	50
順位	21	29	12	22

個人資料を作り生徒に与える事もできます。

この統合型ソフトウェアを利用して、パソコンで成績処理を行なった場合、どのような事ができるのでしょうか？ あるクラスの試験結果を処理する場合について考えてみましょう。

パソコンに簡単な命令を与えるだけで、その試験結果から各教科毎の平均点や偏差値を計算したり、最高・最低点を見つけたり、得点順に並び替えたりした得点分布の表などを出力させることができます。

8. 成績処理をしてみよう

次画面

前画面

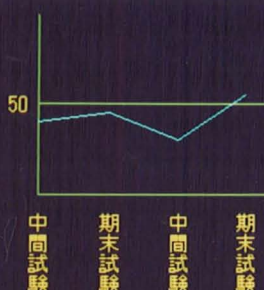
データベース

20

メニュー

終了

写真3-4-26



また数回分の試験結果から、各生徒に関するデータを検索することによって成績の推移を示すグラフが得られ、そのグラフより、成績が伸びる傾向にあるかどうか、教科毎、試験毎にばらつきがないかどうか等が分かり、それらのことが客観的な学習・進路指導の基礎データとして活用できるのではないかと思います。

8. 成績処理をしてみよう

次画面

前画面

データベース

21

メニュー

終了

写真3-4-27

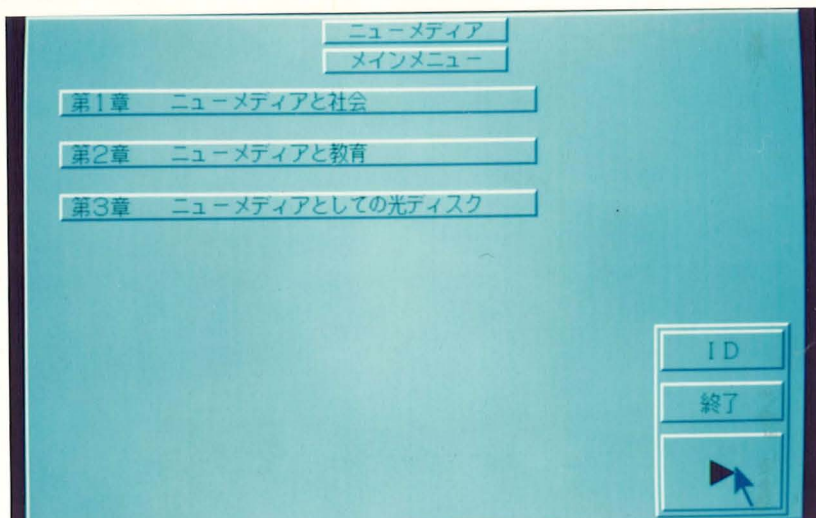


写真3-5-1



写真3-5-2

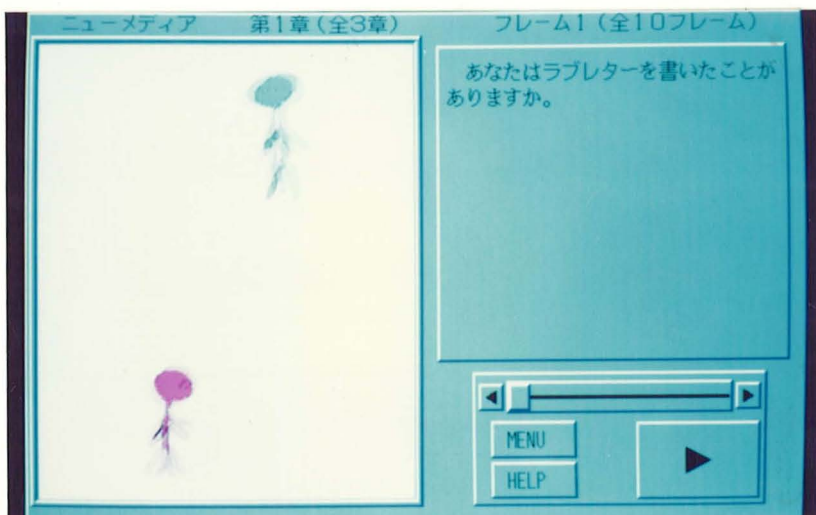


写真3-5-3

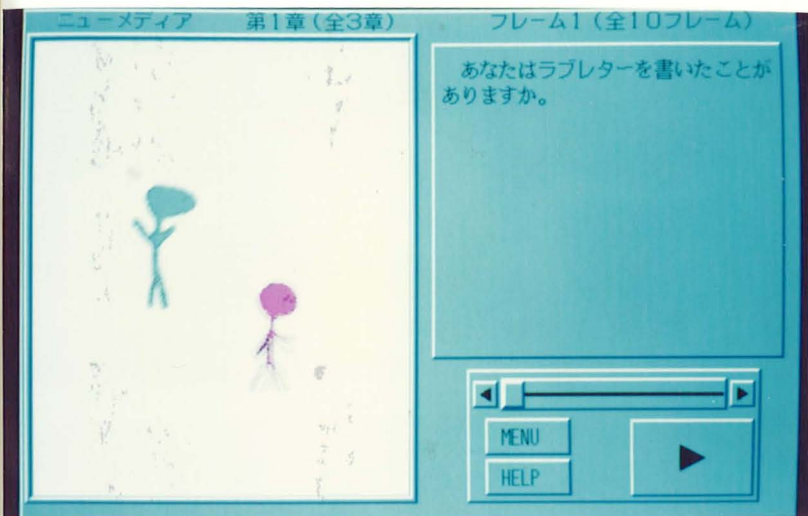


写真3-5-4

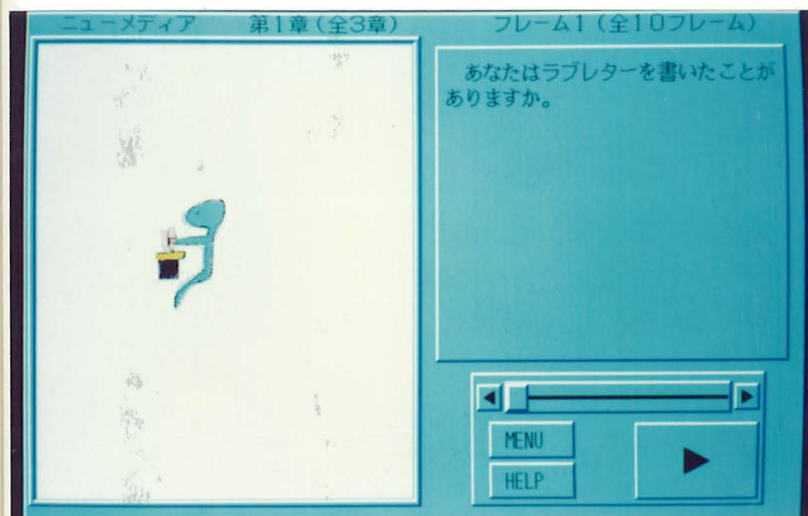


写真3-5-5

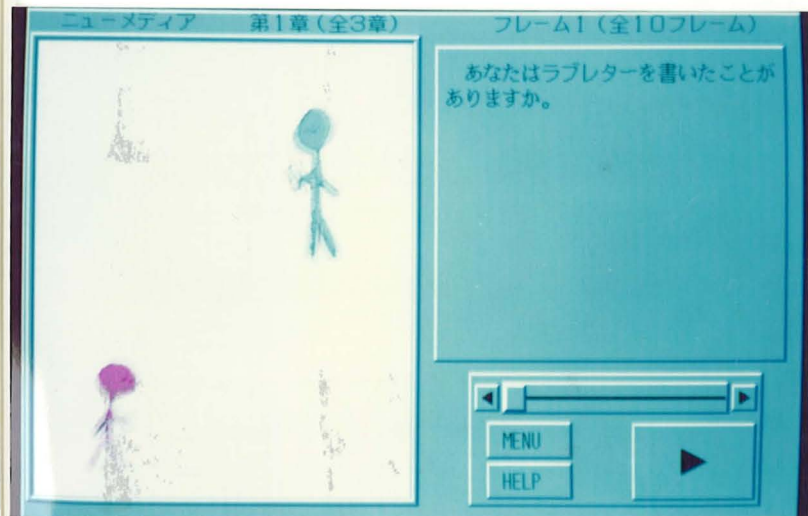


写真3-5-6

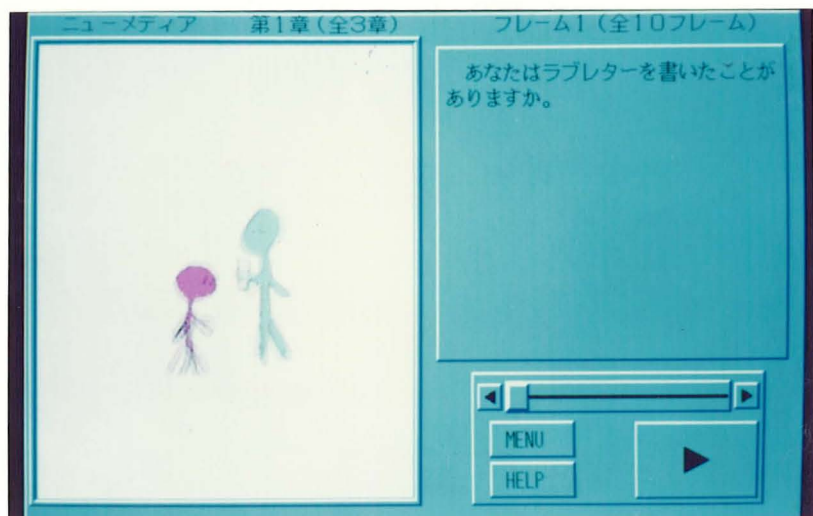


写真3-5-7

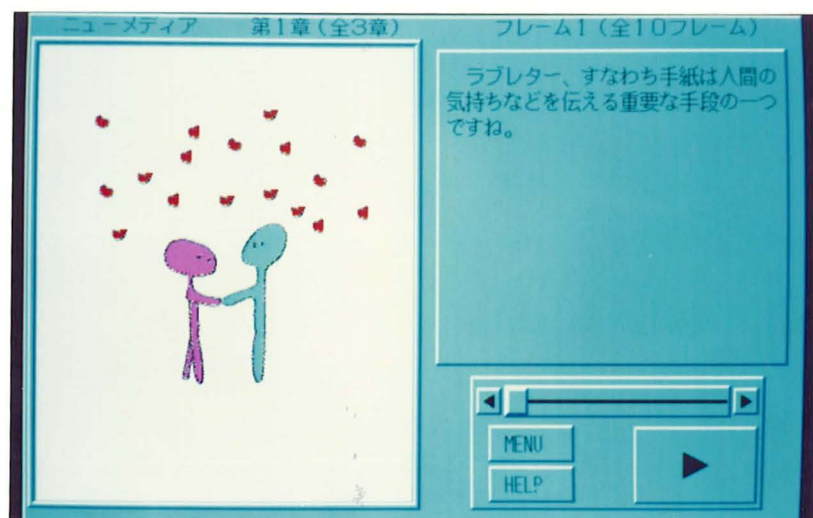


写真3-5-8

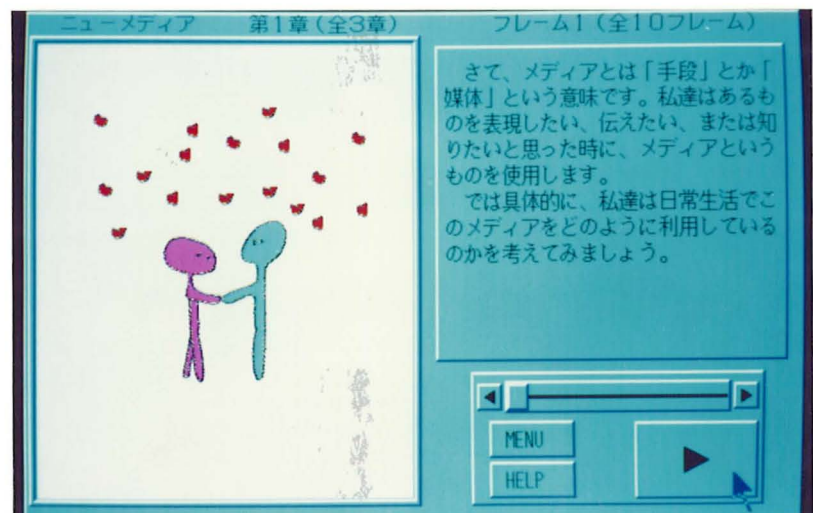


写真3-5-9



写真3-5-10

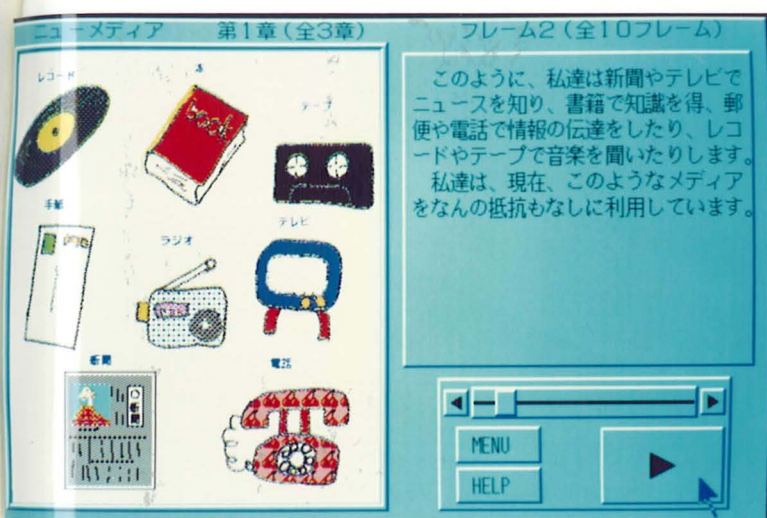


写真3-5-11

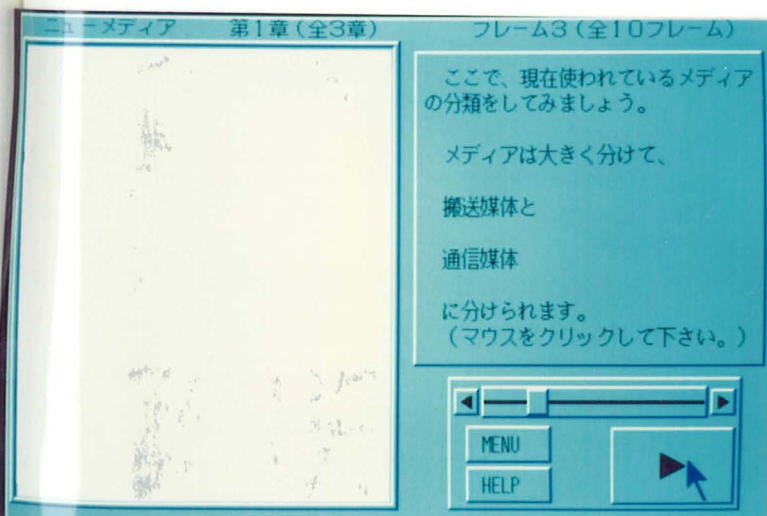


写真3-5-12

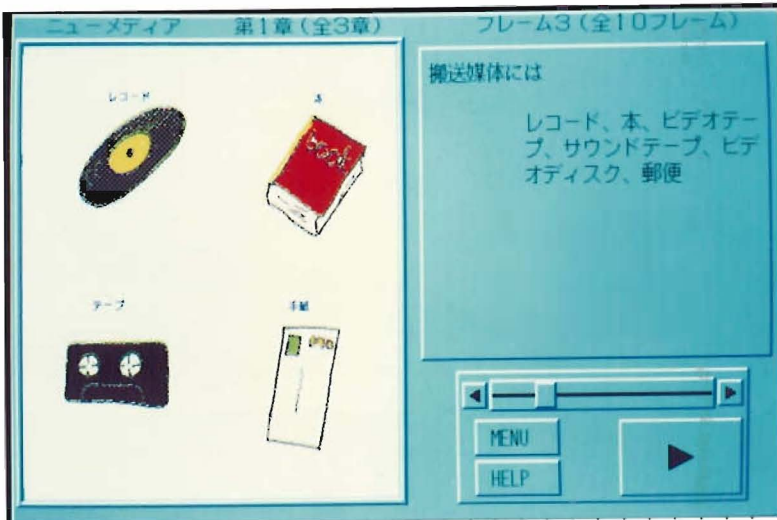


写真3-5-13

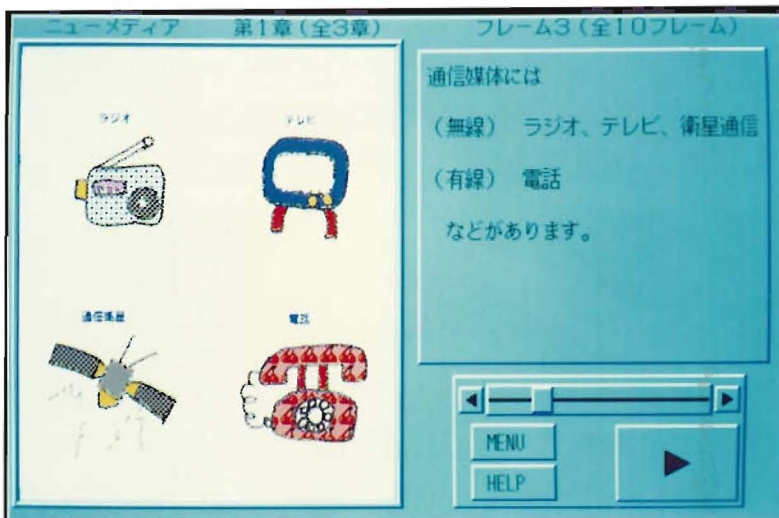


写真3-5-14

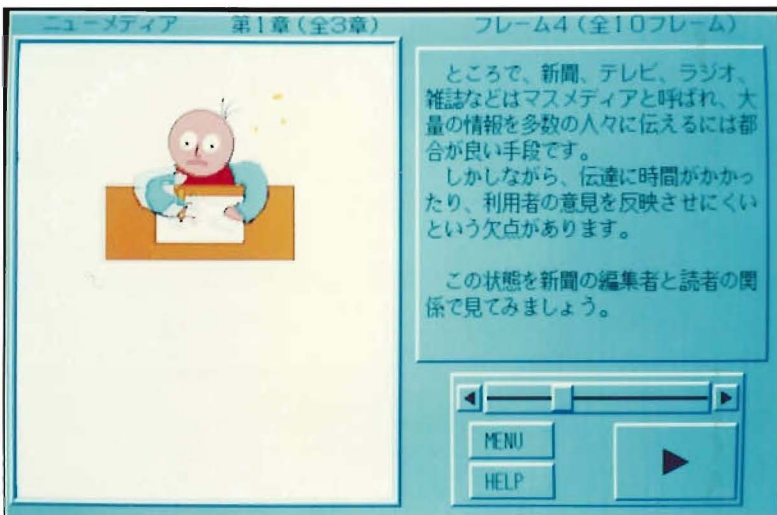
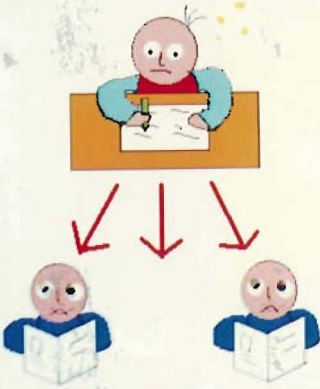


写真3-5-15

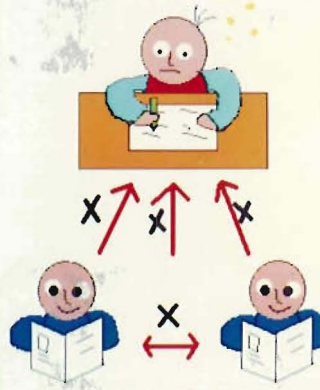


ところで、新聞、テレビ、ラジオ、雑誌などはマスメディアと呼ばれ、大量の情報を多数の人々に伝えるには都合が良い手段です。
しかしながら、伝達に時間がかかったり、利用者の意見を反映させにくいという欠点があります。

この状態を新聞の編集者と読者の関係で見てみましょう。



写真3-5-16



ところで、新聞、テレビ、ラジオ、雑誌などはマスメディアと呼ばれ、大量の情報を多数の人々に伝えるには都合が良い手段です。
しかしながら、伝達に時間がかかったり、利用者の意見を反映させにくいという欠点があります。

この状態を新聞の編集者と読者の関係で見てみましょう。

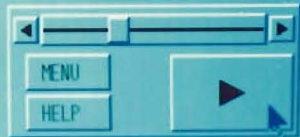


写真3-5-17

- 新聞 一度に大量の情報を送れるが、スピードが速い。
- テレビ スピードは速いが、保存しにくい。
- ラジオ 手軽だが、映像がない。
- 書籍 専門的な情報を得られるが、特にスピードに欠ける。
- 電話 お互いに意志の疎通が出来るが、大量の情報を伝達しにくい。

それでは、それぞれのメディアの持つ欠点を整理してみましょう。

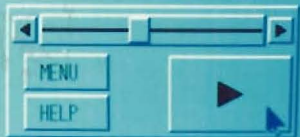


写真3-5-18

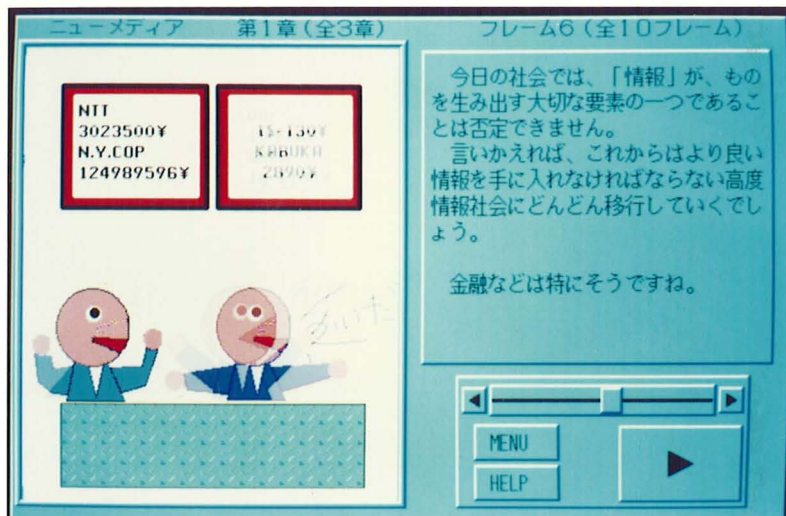


写真3-5-19

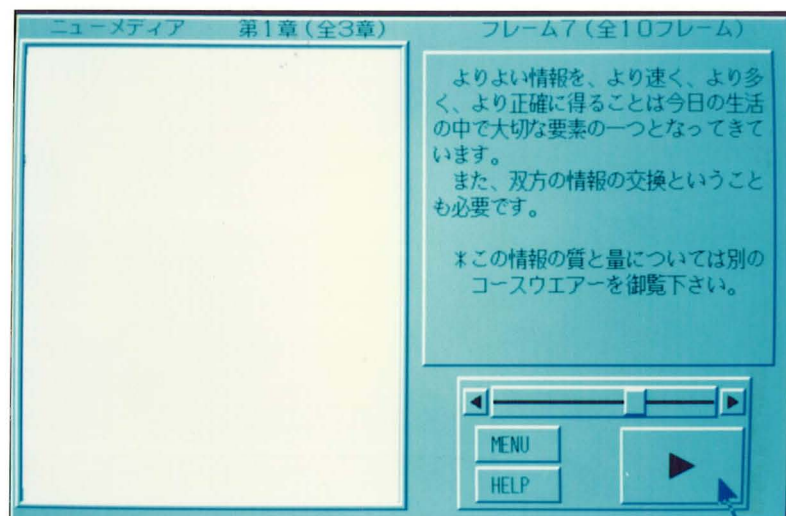


写真3-5-20

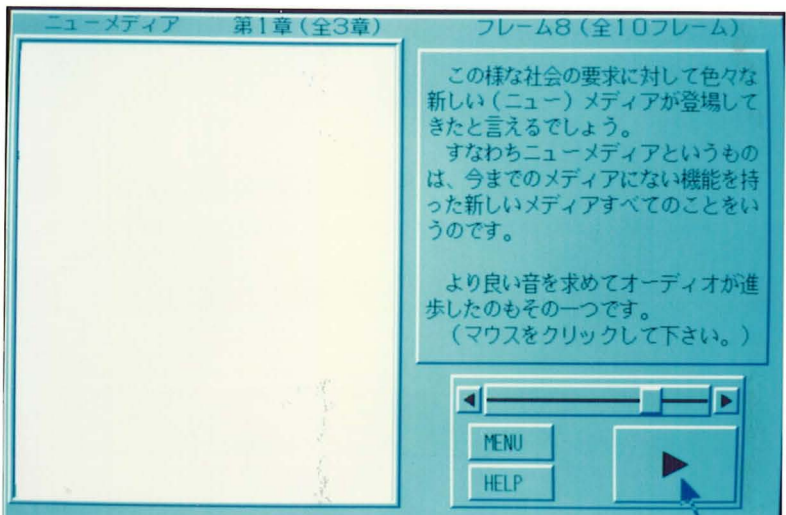



写真3-5-21

ニューメディア 第1章(全3章) フレーム8(全10フレーム)



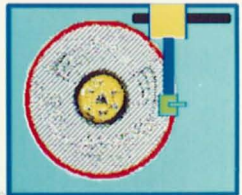
このような社会の要求に対して色々な新しい(ニュー)メディアが登場してきたと言えるでしょう。
すなわちニューメディアというものは、今までのメディアにない機能を持った新しいメディアすべてのことをいいます。

より良い音を求めてオーディオが進歩したのもその一つです。

MENU HELP

写真3-5-22

ニューメディア 第1章(全3章) フレーム8(全10フレーム)




このような社会の要求に対して色々な新しい(ニュー)メディアが登場してきたと言えるでしょう。
すなわちニューメディアというものは、今までのメディアにない機能を持った新しいメディアすべてのことをいいます。

より良い音を求めてオーディオが進歩したのもその一つです。

MENU HELP

写真3-5-23

ニューメディア 第1章(全3章) フレーム8(全10フレーム)



今ではこんなにも小さくなりました。

このような社会の要求に対して色々な新しい(ニュー)メディアが登場してきたと言えるでしょう。
すなわちニューメディアというものは、今までのメディアにない機能を持った新しいメディアすべてのことをいいます。

より良い音を求めてオーディオが進歩したのもその一つです。

MENU HELP

写真3-5-24